

「第1回 関西MBA学生フォーラム 交流会(関西学院大学開催)」レポート



KG-MBAマネジメント研究会代表
2007年度修了(経営戦略専攻) 本下 真次

2008年9月21日(日)、関西学院大学大阪梅田キャンパスにおいて、関西のMBAホルダー及び在校生が一同に集い、「第1回 関西MBA学生フォーラム 交流会」と題し、勉強会と懇親会を開催しました。参加校は、関西学院大学の他に、京都大学、立命館大学、同志社大学、神戸大学、大阪市立大学、福井県立大学と多岐に渡り、非常に有意義なイベントとなりましたのでご報告いたします。

関西MBA学生フォーラムとは、同志社大学ビジネススクールの林教授からの声掛けで、親交のある、京都大学、立命館大学、同志社大学の各先生とのネットワークを通じて、それぞれのゼミの学生を窓口話し合いを進めて立ち上げが企画されたイベントで、関西のMBAホルダーの連携や知的交流を目的にしています。そのキックオフとして、2008年6月22日(日)、「第0回 関西MBA学生フォーラム」が同志社大学で行われたのが最初です。同日参加していたメンバーで話し合った結果、主催は当面持ち回りで実施とし、主催大学が勉強会、交流会などのプログラムを考えるということで進めています。

今回の関西学院大学開催での第1回の参加者は総勢50名ほど。勉強会は事前にケースを読み込んだ上で、当日、大学混合の8グループを編成し、グループディスカッション、発表、質疑という流れで進めました。関西学院大学経営戦略研究科の佐藤教授作成の「株式会社キーエンス：ビジネスモデルの競争優位と持続的成長」と「株式会社コモ：大企業との競争」の二つのケースを用いて各グループで分析を行い、現状の問題と今後の戦略について4グループが発表し、他の4グループが質問するという形です。2ケース合計で3時間半の長丁場でしたが、質疑で白熱した場面もあって大いに盛り上がり、参加された皆さんからは「時間が短く感じた」という声が多く聞かれました。ゲスト参加いただいた立命館大学経営管理研究科の杉山教授、福井県立大学経済・経営学研究科の小倉教授、大阪市立大学創造都市研究科の湯浅助教授、そしてケース作者の関西学院大学佐藤教授からの講評の後、最後に山本研究科長からの講評を経て終了となりました。

懇親会は、多くの方とは初めてお会いするにも係わらず、関西の熱い同士とともに有意義な時間を過ごすことができ、大変刺激になりました。また、着席にも関わらず立食パーティーのような交流となり、ネットワークの広がりを実感することができました。他校の方からは「参加してよかった」との声をお聞きし、また、他校の窓口幹事の方は、関西学院大学の世話役の結束力に驚いておられました。

MBAの学生、修了生が主体となって運営し、他校や教員を巻き込んだ今回のような勉強会はこれまでになく、本当に意義深いイベントであったと思います。また、その第1回目を関西学院大学にて行えたことを誇りに思います。

その後、11月29日（土）には第2回が京都大学にて開催され、大学対抗でのケースコンペを実施、さらに第3回は立命館大学、第4回は同志社大学において総会が行われる予定となっており、関西MBA学生フォーラムのネットワークはますますの発展が期待できそうです。

【KG-MBAマネジメント研究会とは】

現在の経営戦略研究科の前身である商学研究科マネジメントコース第1期修了生が1995年に立ち上げた、人的交流と研究継続を目的とする関西学院大学公認の同窓会団体。原則的には経営戦略研究科在校生、修了生（商学研究科マネジメントコースを含む）はすべてメンバー対象となり、年に一度の総会のほか、ゴルフコンペや他校との交流イベント、営業研究会、企業ファイナンス研究会、IT部、起業部、女性キャリア研究会、ソーシャルベンチャー研究会などの継続研究を、在校生、修了生が一体となって行っています。

今回の第1回 関西MBA学生フォーラムは同団体のバックアップにより行われました。

